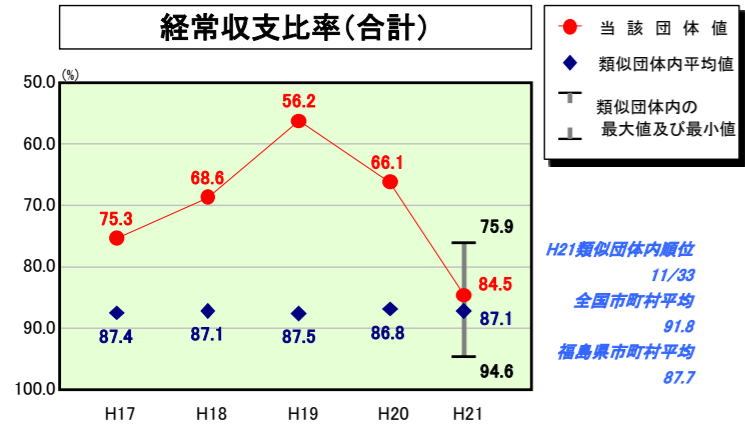


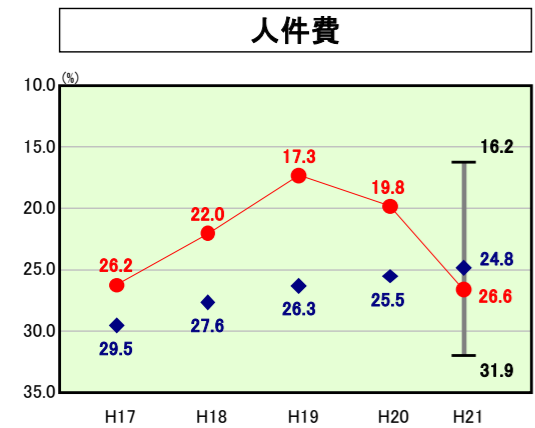
歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析

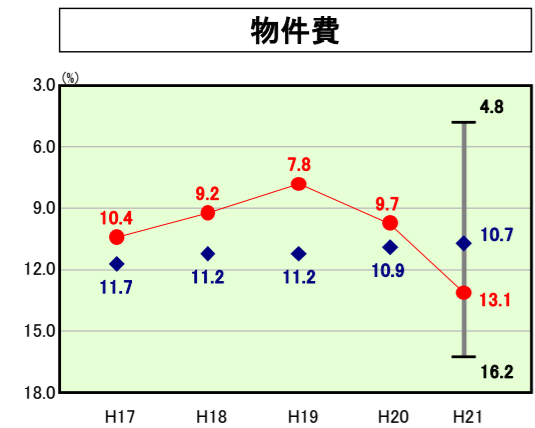


● 当該団体値
◆ 類似団体平均値
┌ 類似団体内の
└ 最大値及び最小値

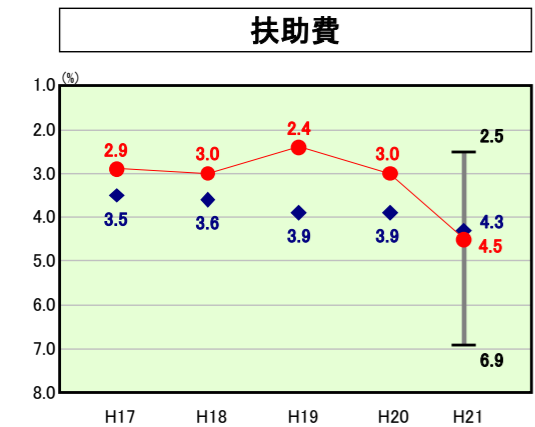
H21類似団体内順位 11/33
全国市町村平均 91.8
福島県市町村平均 87.7



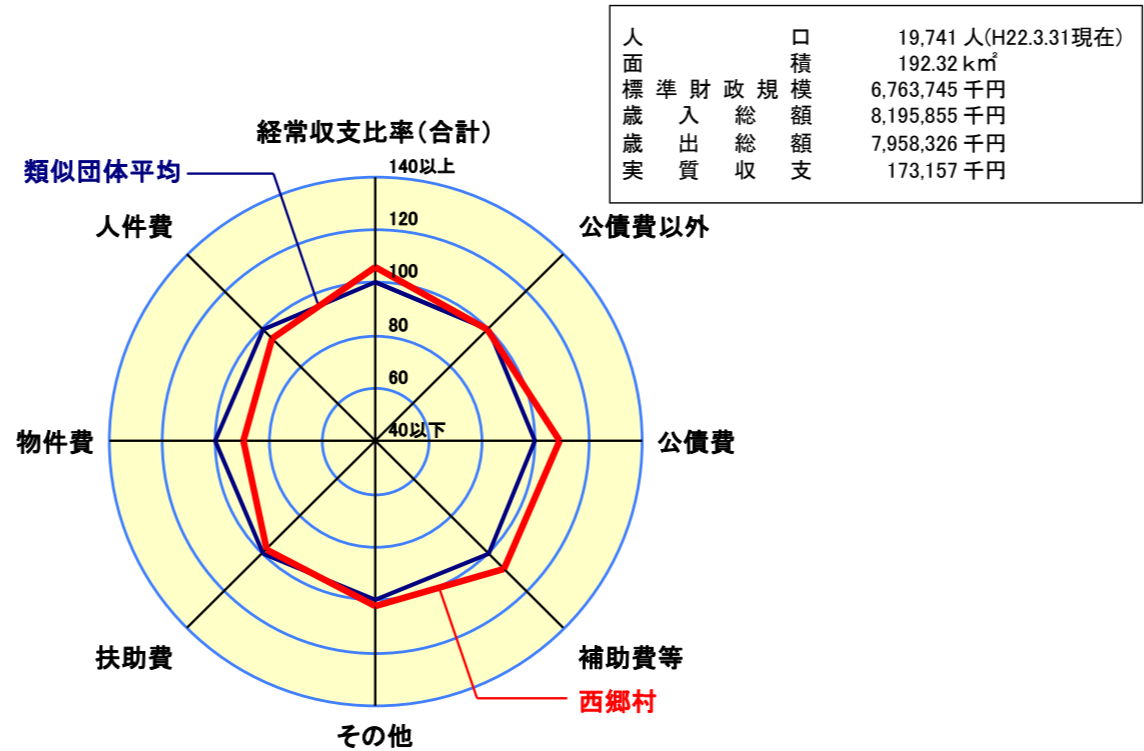
H21類似団体内順位 25/33
全国市町村平均 26.7
福島県市町村平均 25.1



H21類似団体内順位 25/33
全国市町村平均 13.0
福島県市町村平均 12.9



H21類似団体内順位 22/33
全国市町村平均 9.6
福島県市町村平均 6.7



人口	19,741人(H22.3.31現在)
面積	192.32km ²
標準財政規模	6,763,745千円
歳入総額	8,195,855千円
歳出総額	7,958,326千円
実質収支	173,157千円

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

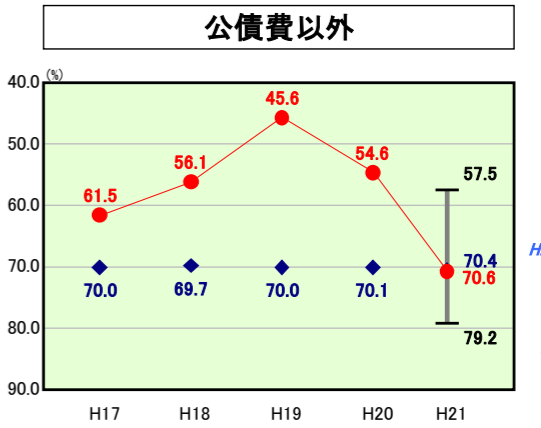
分析欄

経常収支比率:
一昨年度下期以降、依然として続いている世界的な経済危機下での企業収益の悪化を色濃く反映し、法人税が対前年度比80.3%の減となったことが主要因となり、分母となる経常一般財源が大幅に減少した。本村の経常一般財源の大半を占める法人税は、景気動向に左右されやすく不安定な要素が大きいため、分子となる経常経費の抑制に努めていく。

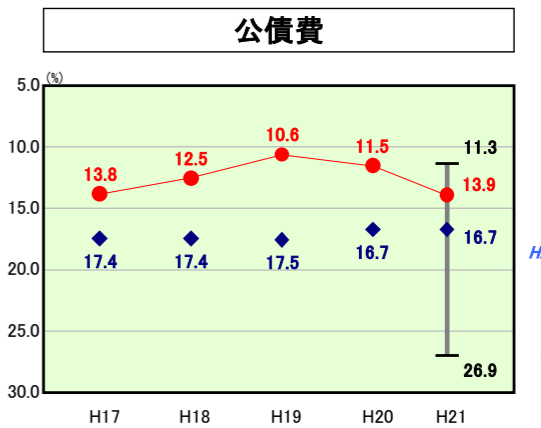
人件費:
類団平均と比較して人件費に係る経常収支比率が低くなっているのは人口1人当たり決算額が類団平均比△11.6%と少ないためである。職員数が減少してきている分、賃金(物件費)の割合が高くなっているが、今後も定員管理・給与の適正化及び事務事業の精査等を行っていく。

公債費:
土地開発公社委託事業が他団体に比して多額であることが実質公債費比率を引き上げる要因となっているため、今後は財政状況をみながら、繰上償還の実施に努める。経常収支比率については、類団平均を2.6%下回っているが、大型事業の適正な取捨選択を行っていくなどして将来の公債負担の抑制を図る。

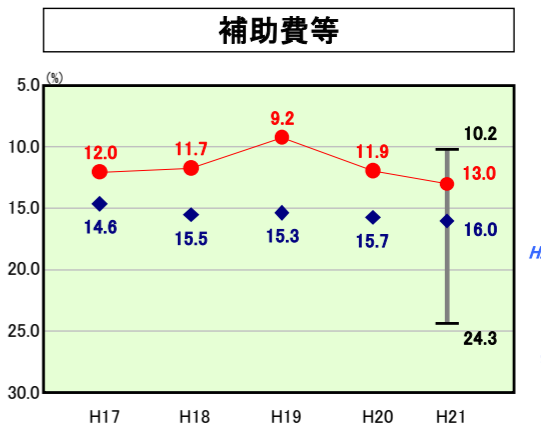
普通建設事業費:
人口1人当たり決算額が前年度に比べ増加したのは、西郷第一中学校施設整備事業費の増による。今後については、事業内容を精査したうえで、必要最低限の事業量確保に努める。



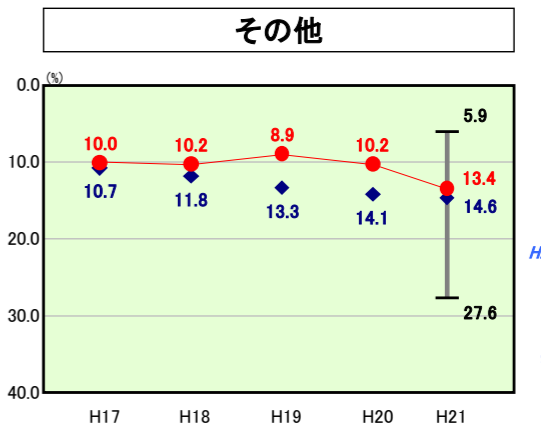
H21類似団体内順位 20/33
全国市町村平均 71.9
福島県市町村平均 69.0



H21類似団体内順位 6/33
全国市町村平均 19.9
福島県市町村平均 18.7



H21類似団体内順位 7/33
全国市町村平均 10.5
福島県市町村平均 10.9



H21類似団体内順位 16/33
全国市町村平均 12.1
福島県市町村平均 13.4